

ふらつしりやつしり

注意するべき表現

①これもいまはむかしゑふつしりやうしゅといふありけり②いへのとなりよりひいてきてかせおしおほひてせめければにけいてておほちへいてにけり③ひとのかかするほとけもおはしけり④またきぬきぬめこなどもさなからうちにありけり⑤それもしらすたたにけいてたるをことにしてむかひのつらにたでり

⑥みれはすてにわかいへにうつりてけふりほのほくゆりけるまでおほかたむかひのつらにたちてなかめければ⑦あさましきこととてひともきとふらひけれとさわかす⑧いかにとひといひければむかひにたちていへのやくるをみてうちうなつきてときときわらひけり⑨あはれしつるせうとくかな⑩としこはわろくかきけるものかなといふときに⑪とふらひにきたるものともこはいかにかくてはたちたまへるそ⑫あさましきことかなもののつきたまへるかといひければ

①～⑥下二段活用の動詞を見つけ、――を引き、活用の行、終止形、活用形を記す。

文中に上一段活用の動詞が2つ（重複は数えない）出現している。――を引き、活用の行と終止形、活用形を記す。

⑬なんてふもののつくへきそ⑭としこふどうそんのくわえんをあしくかきけるなり⑮いまみれはかうこそもえけれとしこうえつるなり⑯これこそせうとくよこのみちをたててよにあらむにはほとけたによくかきたてまつらはひやくせんのいへもいてきなむ⑰わたうたちこそさせるのうもおはせねはものをもをしみたまへといひてあさわらひてこそたでりけれ

⑲そのちにやりやうしゅかよちりふとうとていまにひとひとめてあへり

⑯「たまへ」の活用の行・種類、活用形は何か？

繪仙師良秀家，傳，見于悅事

絵仏師良秀家の焼くるを見て悦ぶ事